

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-1	事業名	(仮称)市民交流複合施設整備事業				
担当	市民まちづくり局企画部都心まちづくり課 湊 211-2692						
全体計画							
事業内容	旧市民会館は老朽化による耐震性能の問題から、平成19年3月をもって閉館した。その対応として、これまで市民会館が果たしてきた役割や高い利用状況を勘案した結果、創世1.1.1区計画の事業化検討を牽引するとともに、都心部における新たな市民交流拠点を形成し、まちの魅力を高めることで、都心のまちづくりを推進することを目的として、市民会館の後継となる新たな(仮称)市民交流複合施設の整備を目指すこととした。検討にあたっては、創世1.1.1区(北1条西1丁目街区)の事業化の動向が鍵となり、その状況を踏まえながら、市民交流複合施設のあり方(目的、性格、施設内容等)について、旧市民会館の利用状況や利用者の声、市民の意向を踏まえて進めていく。また、創世1.1.1区の事業化では民間事業者との再開発が想定され、それと整合するべく、実現に向けて検討する。			<年度別の事業内容>			
				平成19年度は、市民交流複合施設基本計画策定に向け、市民意見の聴取、市民交流複合施設検討委員会の設置等を行い、施設のあり方について検討を行った。 平成20年度は、市民交流複合施設検討委員会より手交された「市民交流複合施設のあり方に関する提言」を元に、パブリックコメント等を行いながら、基本計画を策定する。また、具体的な施設内容を検討し、市民交流複合施設実施方針を策定する。 平成21年度、22年度は、施設の管理運営(アート・マネジメント等を含む)の検討を行う。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	市民交流複合施設基本計画検討 市民交流複合施設基本計画策定に向け、市民交流複合施設検討委員会の設置運営、市民意見聴取、他都市事例調査等を行った。 市民交流複合施設概略設計 検討委員会の検討成果を元に、大まかな施設規模、配置等の検討を行った。 市民交流複合施設設置に係る公民連携事業手法検討 施設設置に向けて、民間資金力等の活用、所有形態、本市の財政的負担について、検討を行った。 市民交流複合施設動線計画検討 市民交流複合施設にいたる動線について、検討を行った。 市民交流複合施設基本計画策定に係る市民フォーラム企画等業務 市民交流複合施設基本計画策定にあたり、フォーラムを開催することとし、その企画、資料作成等を行った。			市民交流複合施設基本計画策定 市民交流複合施設基本計画素案の取りまとめ、市民に対し、これまでの検討経緯や素案の考え方などを周知する市民フォーラム実施、市民意見募集等を経て、市民交流複合施設基本計画を策定する。 市民交流複合施設実施方針策定 市民交流複合施設基本計画を踏まえ、具体的な施設規模や設備等について検討を行い、実施方針として策定する。			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
施設基本計画の策定		検討	検討	策定	/	/	策定 (20年度)
施設実施方針の策定		-	-	検討・策定	/	/	策定 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 公開ヒアリング、円卓会議等を通じ、市民や市内の芸術文化活動を行う団体の意見把握を行った。							
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-3-1		事業名	(仮称)市民交流複合施設整備事業		
評価(成果)			課題			
市民交流複合施設検討委員会(有識者等)、公開ヒアリング(市民意見聴取)、円卓会議(文化芸術団体等)を通じ、市民交流複合施設のあり方について、検討を進めた。			市民交流複合施設は、再開発事業の中で実現を目指しているため、再開発の実施主体との調整を綿密に行っていく必要がある。 また、施設とともに実現を目指しているアート・サポートセンター、創造活動センターについては、庁内関係部局を始めとして、関係団体との調整を進めていく必要がある。			
今後の事業の予定・方向						
昨年度取りまとめられた「市民交流複合施設のあり方に関する提言」を元に、本年度は基本計画、実施方針の策定を行う。また、あわせて、アート・サポートセンター、創造活動センターの検討を深め、札幌市の文化芸術活動、創造活動都市を具体化する拠点作りを目指す。さらに、施設の管理運営についても検討を行う。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	30,000	8,000	8,000	4,000	50,000
	財源内訳					
	国・道支出金	15,000	0	0	0	15,000
	市債 その他 一般財源	0 0 15,000	0 0 8,000	0 0 8,000	0 0 4,000	0 0 35,000
予算	事業費	30,000	4,500	-	-	34,500
	財源内訳					
	国・道支出金	15,000	0			15,000
	市債 その他 一般財源	0 0 15,000	0 0 4,500			0 0 19,500
実績	事業費	30,451	-	-	-	30,451
	財源内訳					
	国・道支出金	15,000				15,000
	市債 その他 一般財源	0 0 15,451				0 0 15,451
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				69.9%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度] 市民交流複合施設基本方針検討において、経費の節減に努めることとしたため。						